

#### 14. 心の子どもごはん

記録：水野桃弓

場 所：KUMON 教室1階の喰い処「心」（名古屋市守山区小幡南 2-5-34）  
当日は「心の子どもごはん」ののぼりを入口に立ててある。

参加対象：幼児から中学生

料 金：300円（幼児は200円）チラシには「参加費の都合がつかない方も、どうぞ親子でおいで下さい。ご負担ないようにいたします。」とのこと

代 表：中村さん

運営人数：中村夫婦、二人のお手伝いさん、中学二年生のゆきちゃんとお母さん  
（ゆきちゃんは支援学級の子であり KUMON に通う生徒）

初 回：2016年9月3日（土）18：00～20：00  
毎月第1土曜日と第3土曜日（カレーの日）

参加日時①：2016年12月3日（土）17：30～20：30

参加人数：子ども4人、大人6人（夫婦そろって家族で来店した二組、お持ち帰りの方、子ども二人連れてきたお母さん）子どもだけでは来なかった。

献 立：串カツ、八丁味噌の牛すじどて煮、ポテトサラダ（赤大根）、味噌汁、ごはん、スムージー

参加日時②：2017年1月7日（土）17：30～20：30

来店人数：子ども2人、大人1（親子）

献 立：おでん（お代わり自由）、おせち、菜飯、アイス、ジュース

#### ◎きっかけ

私（中村）が小学校1年生の時、母は妹を難産の末に出産し、5日後に亡くなった。その後、新しい母がきて、ずっと継子いじめをされた。腹違いの妹もでき、家には自分の居場所がなかった。妹たちがご飯を食べても、自分のご飯がない。洗濯物も自分の分だけ分けられていた。こうした体験から、中学生の頃から施設を訪問し、子どもたちと遊び、勉強の面倒を見るなどボランティア活動を行ってきた。その後、実家を逃げるように、今の主人と知り合い結婚した。いろいろな仕事を経験し、天職と思える KUMON 教室に出会った。私の KUMON 教室には、障害を持った子が多いときで30人以上おり、心を病む子どもやお母さんが集まった。35年間働いた KUMON 教室を2年前に娘に託した。

「心」の店も KUMON 教室も辞めて、これから自分に何ができるのかと思った矢先に「子ども食堂」がテレビで放送された。それを見て、寂しかった子ども時代を思い出した。そして、寂しく一人でごはんを食べている子、母親の愛情を受けられていない子、どうやって子どもと接して良いのか悩んでいる母親もいるのではないかと思った。

お金がない時代、わが子に食べ物や着るものを全て手作りした経験を活かす場所ができた。一方、父親を亡くした主人は、満足に食事を取ることができずに育ったこともあり、

私たちの経験が、今を生きる子どもたちに明るい光を照らすことができるのではないかと思った。

今、ボランティアとして参加している中学生の中には、障害により支援学級に通っている子がいる。彼らはイキイキしており、ここが居場所になっているようで嬉しい。

しかし、まだ子ども食堂の存在が理解されておらず、本当に困っている人たちに届いていない。できる限り長く続けられることが大切だと思っている。

#### ◎食堂の仕組み

毎月第1土曜と第3土曜（カレーの日）、午後6時から8時まで開催する。申込締め切りは、当日の午後3時まで。定員は20名まで。

始める前に「なかよしごはん」に一度見学に行った。

#### ◎場所

中村さんが経営している喰い処「心」を使っているため、場所に料金はかかっていない。

#### ◎宣伝

宣伝方法は、小学校や地域のスーパーにチラシを貼ってもらっている。知人の協力で作ったブログとチラシを利用している。始めるにあたって、社会福祉協議会に声をかけ、そこから民生委員さん、市議会委員の小川さんに協力をお願いし、名古屋市の後援を受けられるようになった。

#### ◎資金、食材

日本ゼネラルフードを紹介いただき「アロス」（尾張旭市のスーパー）での食材の購入が無料になる。守山区で活動している「ぴんころ男会」で作っている野菜の寄付などもある。また、全国子ども食堂ネットワークと子ども食堂グーグルマップに登録し、たくさんの方の目に留まり食材の寄付や支援金がいただける。

はじめの投資資金10万円、寄付金などはまだ手をつけてない。

#### <最近の寄付>

- ・カレーの牛肉（和牛）はひふの松野さんより、四キロ寄贈
- ・北欧スムージーはフルーシュさんより寄贈
- ・山崎製パンさんより12月17日にクリスマスケーキの寄贈
- ・新米合計35キロの寄贈
- ・無洗米20キロの寄贈

#### ◎参加者

参加者のお母さんから、子ども食堂に対して御礼のメールが届く。また、以前から参加しているお母さんの表情が明るくなったように感じる。水野が参加した2回は、子どもだけの参加はなく、親子か家族で参加していた。

◎チラシに書いてある言葉

「日ごろから頑張っているお父さん・お母さんへ 忙しい皆さんに代わって、心を込めた「美味しい」「温かい」「旬を大切にした」ごはんを作って待っています。みんなでワイワイ食卓を囲みましょう。」

◎感想

食堂を主催する方も参加する方も、居場所として使っている気がした。また、全国子ども食堂ネットワークに登録しているため、食材の寄付や寄付金があるようだ。

中村さん（奥さん）が食堂参加者の悩み相談を受け、アドバイスをする。場所は広くはな  
いが、キッチンから食べる場所も近く温かい雰囲気だった。子ども食堂はずっとやりた  
かったものであり、これからも継続していこうと考えている。

◎写真



**子ども食堂**  
**心の子どもごはんのご案内**

日頃から頑張ってる お父さん・お母さんへ

忙しい皆さんに代わって、心を込めて「美味しい」「温かい」「旬を大切にしたい」ごはんを作っています。みんなでワイワイ楽しい食卓を囲みましょう。

**みんなで食べるの、おいしいよ!**

♡「心の子どもごはん」は子どもだけでも入れます。おうちの人に関わって来てください。  
▼本がいっぱいの図書室もあります。

**日時** 毎月第1・第3土曜日  
午後6:00～午後8:00

♡申込みの締め切りは当日の午後3時です。

**対象** 幼児～中学生  
♡幼児は必ず兄弟か大人といっしょにね!  
♡保護者の方も、どうぞお越しください。

**場所** 喰い処「心」  
あまひ幼稚園西隣  
守山区小幡南2-5-34

当日は「心の子どもごはん」ののびりを入口に立てます。目印にきてください。

**参加費** 300円 (幼児は200円)  
♡参加費の都合がつかない方も、どうぞ親子でおいで下さい。ご負担のないようにいたします。

**お申し込みは…**  
開催日の午後3時までにお電話でご連絡ください。  
【電話】080-2625-4143 中村  
※定員20名で締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

**メニューの例**

**第1土曜日は…**  
メインは魚料理または肉料理  
サラダ・煮物・汁物・デザート  
「心」の揚げたての美味しい天ぷらも!

**第3土曜日は…**  
カレーの日  
サラダ・デザート  
時にはカツカレーも!

おのれし 豆腐など  
お肉の刺し身、ハンバーグ、オムライス、フライなど  
お肉の焼いた焼き肉、こぼれ、おにぎりなど  
お肉、チキン、ホウロウなど  
野菜サラダ

アレルギーなど気になることがあれば、できる限り配慮しますのであらかじめご相談ください。

**ご支援のお願い**

子ども食堂「心の子どもごはん」は皆さんからのご支援、ご協力によって運営してまいります。長く継続していくために、この活動に賛同いただきご協力をお願いします。

- ・当日のボランティア
- ・チラシを積み置きくださる場所

ご連絡をお待ちしています。  
【電話】080-2625-4143 中村

子ども食堂では、子どもたちの未来を守るために子どもだけの飯食を減らし、ひとり親家庭の子の「食」の支援に力を注いでいきます。

主催：子ども食堂「心の子どもごはん」  
後援：名古屋市・守山区社会福祉協議会  
[http://kuidokorokoro.web.fc2.com/kodomo\\_gohan.html](http://kuidokorokoro.web.fc2.com/kodomo_gohan.html)